

■神川松子 社会主義運動家。稲妻のような活動，結婚して離脱，ロシアの作家プーニンを日本に紹介し，夫の会社支援に奔走。

かみかわまつこ

内閣発足・・・1885＝ 広島市大須賀町で，神川渉・サトの六女に生まれる。本名マツ。

帝国憲法発布1889＝ 4歳：

裕福な家で可愛がられ育てられ，

日清戦争始・1894＝ 9歳：

ミッションスクールの広島女学校に進学，学校きっての秀才として校友たちから敬愛される。

- 日比谷公園・1903＝18歳： 日本女子大学校に入学。平塚らいてうと同期生で，すでに社会主義による理想社会実現の抱負をもち，
- 日露戦争始・1904＝19歳： \*退校。青山女学院に転じて，英語，ロシア語を学び，二葉亭四迷に師事する。在学中，{平民社}に出入りして幸徳秋水・堺利彦らと交流し，社会主義婦人講演会などで演説する。
- 日露戦争終・1905＝20歳： \*{平民社}婦人部の一員として堺タメ・寺本みち子らとともに，治安警察法の女子の政治結社加入禁止と政治集会禁止条項の改正請願の署名運動を行う。{平民社}解散後，幸徳や堺らの金曜演説会に参加し，福田英子主宰の{世界婦人}にも多数寄稿。菅野スガとも親しく交際する。
- アヲキ創刊・1908＝23歳： \*赤旗事件で検挙され，拘留中に拷問をうける。獄中でも意気軒昂，治安警察法違反などでの公判にも，警官のでたらめな証言を鋭く追及し，無罪で釈放され，一躍有名になった。いったん帰郷して再上京。新宿柏木に住み，社会主義者との交流を続けるが，山川均との失恋事件ののち，
- 伊藤博文暗殺1909＝24歳： \*兄の友人西川末三からの長年のプロポーズを受け入れて結婚し，末三の勤務地台湾に渡る。以後，社会主義を離れる。
- 明治天皇没・1912＝27歳：
- 第一次大戦始1914＝29歳： 末三が風土病に罹ったため，やむなく一家で帰国。  
青山女学院での恩師二葉亭四迷が死去していたため，昇曙夢に師事して，ロシア文学研究に没頭，
- ロシア革命・1917＝32歳： この年のロシア革命に大きな期待と関心も寄せる。  
末三との間に1男6女を儲けながら，
- 大暴落・・・1920＝35歳： 詩人で小説家のイワン=プーニンの作品を多数翻訳し，{新潮}や{露西亜評論}{早稲田文学}などに発表。  
新婦人協会発会式に参加し，石田友治らとともに会則検討委員となったが，再び積極的な女性運動家へ戻ることなく，この年，夫の末三が，イギリスのロバート・オーエンに学び，また松子の思想を大きく反映した日本最初の協同組合経営方式による測量機械会社の{測機舎}を設立すると，以後，サポートに奔走。
- 原敬首相暗殺1921＝36歳： また，求められて数多くの評論を雑誌に執筆，{婦人公論}{第三帝国}などに，女性解放に向けての鋭い発言など社会主義的な評論も掲載している。
- 治安維持法・1925＝40歳： 世田谷区三宿に会社が移転し，広い土地に社員住宅が次々と建てられ，“測機舎村”と呼ばれ，また，社員の妻たちに呼びかけて給食してもらい，社員一同介しての昼食も行われた。
- 共産党事件・1928＝43歳： この年刊行された「トルストイ全集第51」の翻訳なども手掛けている。
- 海軍軍縮条約1930＝45歳：
- 満州事変・・・1931＝46歳：
- 国際連盟脱退1933＝48歳： この年，\_イワン=プーニンがノーベル文学賞を受賞して，その最初の紹介者としての評価も高まるなか，
- 芥川直木賞始1935＝50歳： 「測機舎を語る」を書いて刊行するほど，測機舎を助け奔走し続けて，
- 二二六事件・1936＝51歳： \_没した。